

吉野復興大臣による米日カウンシル年次総会
本会議昼食会基調講演
「東日本大震災からの復興状況」

(2017年11月13日、於：ワシントンDC)

Reconstruction from
Great East Japan
Earthquake

Minister for Reconstruction
Masayoshi Yoshino
13 November 2017



皆様、こんにちは。復興大臣の吉野正芳です。本日は、東日本大震災からの復興の現状と、アメリカの皆様に対するメッセージをお伝えする機会をいただき、誠にありがとうございます。

2011年3月11日の東日本大震災では、岩手、宮城、福島をはじめとする東北地方沿岸部が、津波による大きな被害を受けました。同時に、原子力発電所の事故もありました。

私の自宅は福島県いわき市にあります。やはり津波によって損壊しています。

発災直後、米軍は「トモダチ作戦」と名付けられた大規模な支援活動を行ってくださいました。アメリカからは、他にも様々な支援をいただきました。アメリカ国民の皆様、そして、当時の駐日大使として支援に御尽力されたルース大使に、心からの感謝をお伝えします。

ルース大使は、米日カウンシルがアメリカ政府と共に主導する「トモダチ・イニシアチブ」の発案者でもいらっしゃいます。このイニシアチブにおいては、日米の若者の交流やアメリカ企業の被災地訪問など、大変意義深いプログラムが実施されています。復興庁も微力ながら関わらせていただいています。

Total number of evacuees

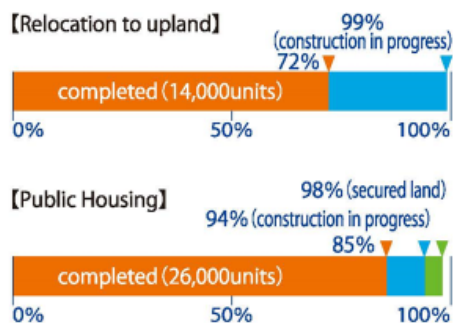


*As of September 30, 2017

震災直後から現在に至るまで、国際社会を含む多くの方々の御努力や支援の成果により、復興は着実に進んでいます。

被災地の学校、病院、道路等のインフラはほぼ復旧しており、ピーク時に47万人いた避難者数は、今では約8万人に減少しています。

Reconstruction of towns and housings



*As of June 30, 2017

住宅再建も着実に進んでおり、街と住宅の再建は来年の春で約9割が完成する見込みです。

津波被災地域である宮城県と岩手県の復興は、震災から10年、すなわち、2021年3月までに完成させることを目標としています。

Kamaishi-city
(Just after the earthquake)



こちらは、震災時にアメリカのレスキューチームが活動した町の1つ、岩手県釜石市の住宅地の様子です。ご覧のとおり、津波により多くの家が流されています。

Kamaishi-City (October 2017)

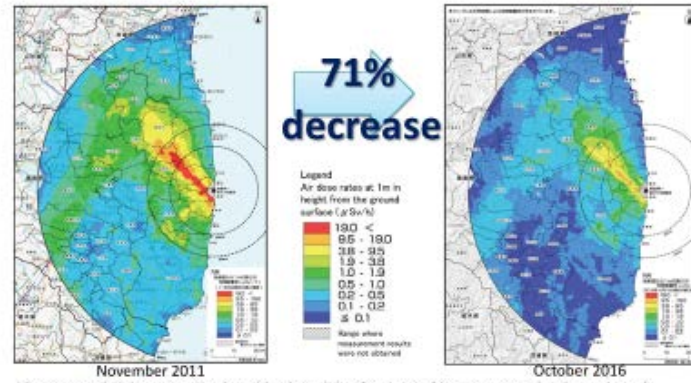


この住宅地は現在、土地が嵩上げされ、宅地の引き渡しが行われています。

釜石市は、2019年のラグビー・ワールドカップのホストシティに選ばれました。

Changes in Air Dose Rate

● The average air dose rate at 1m in height from the ground surface at a distance within 80km from Fukushima Daiichi Nuclear Power Station decreased by about 71%* compared to levels in November 2011.



*The target area is divided into 250 m-grid meshes and the value is calculated from the ratio of the measurement results in the central point of each grid mesh. The rate of reduction may differ when other comparative methods are used.

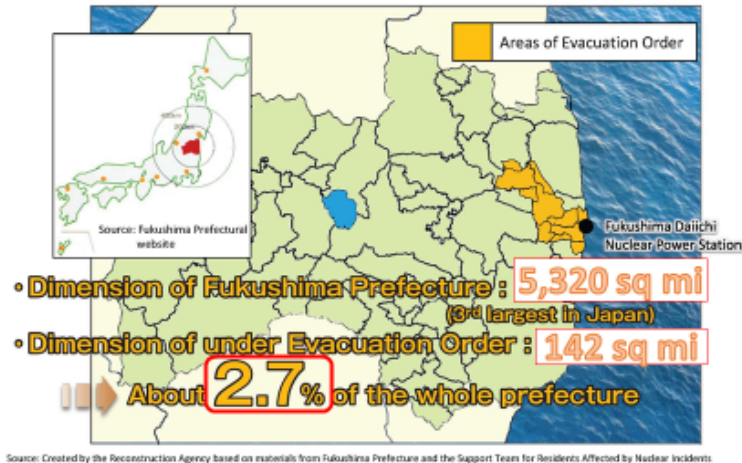
Source: Nuclear Regulation Authority, "Measurements: Results of Monitoring by Aircraft in Fukushima Prefecture and Neighboring Prefectures"
 Most recent date: <http://radioactivity.nra.go.jp/en/>

次に、原発事故からの復興状況についてお話しします。

現在、福島第一原発から80km圏内の空間線量率は、事故後8か月後（2011年11月）と比べて約71%減少しています。

Reconstruction and Recovery of Fukushima: Status of the Areas under Evacuation Orders ①

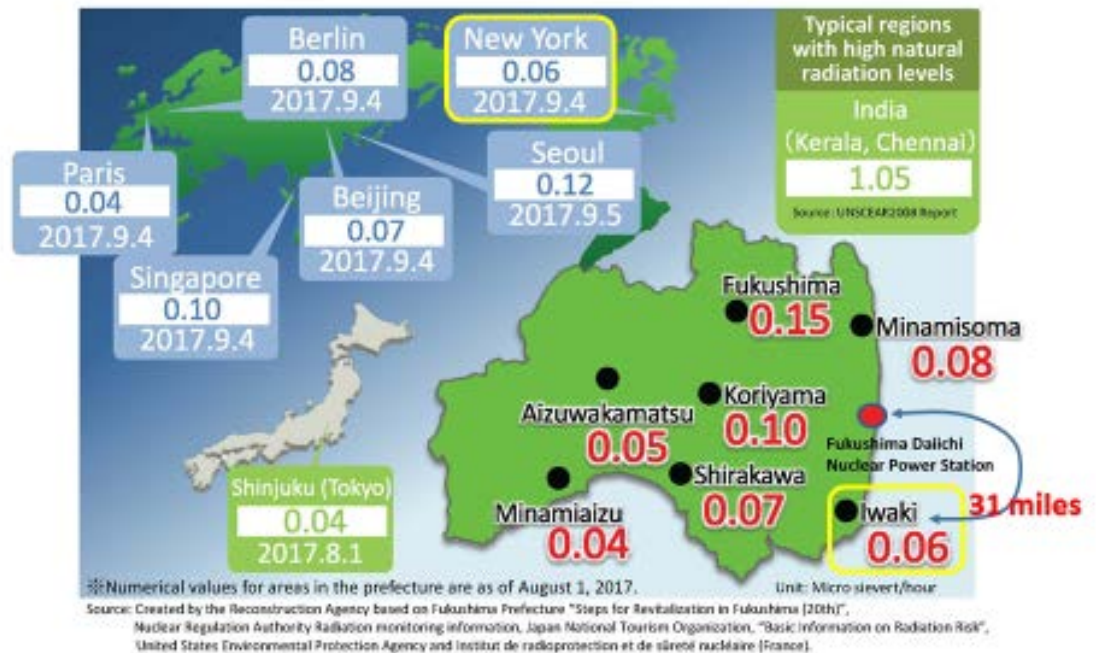
Dimension of areas under evacuation order is about 2.7% of the whole prefecture.
 People in 97.3% of the prefecture can live a normal life.



福島県の県面積はおおよそコネチカット州と同じ面積です。このうち、現在でも原発事故による避難指示が出ているのは2.7%、マンハッタン島6個分ほどの面積のみです。

Current State of Air Dose Rates within Fukushima: Comparisons with Other Parts of the World

● The air dose rate in Fukushima Prefecture is about the same level as other major cities overseas.



これは空間線量率の世界の各都市との比較です。福島県内の主要な市の数値が、世界の多くの都市と大きく変わらないことが分かります。

福島第一原発から50km圏内のマイホームタウン、いわき市の数値は、ニューヨークとほぼ同じです。

Adoption of the World's Strictest Level of Standard Limits as Set in Scientific Basis

(Unit : Bq/kg)

Japan		EU	USA	CODEX			
General Foods	100	Food except Minor Food	1250	Food	1,200	Foods other than Infant Foods	1,000
Infant Foods	50	Infant Food	400			Infant Foods	1,000

原発事故に関連して、食品安全に対する取組をお伝えします。









食品の放射性物質への低減対策により、国内・国際市場に流通する食品の安全は確保されています。

また、科学的根拠により設定された世界で最も厳しいレベルの検査を行っています。基準値を満たすものが市場に流通するようになっています。

日本における基準値は、1 kgあたり100ベクレルの検査値を超えた一般食品は流通させないというものです。

アメリカは1 kgあたり1200ベクレルの上限を設定しています。

Initiatives for the Safety and Security of Food in Fukushima Prefecture

State of monitoring of agricultural, forestry and fishery products produced in Fukushima Prefecture		(April 1, 2016 to March 31, 2017)	
		※Monitoring for brown rice only was conducted from August 24, 2016 to March 1, 2017.	
Classification	Total No. samples	No. of samples exceeding standard limits	Proportion of samples exceeding standard limits
 Brown rice (produced 2016)	Approx.10.24 million	0	0.00%
 Vegetables & Fruits	3,793	0	0.00%
 Livestock products	4,384	0	0.00%
 Cultivated edible Mushrooms	1,049	0	0.00%
 Marine Fishery products	8,766	0	0.00%
 Inner water-cultivated fish	118	0	0.00%
 Wild edible plants & Mushrooms	783	2	0.26%
 Inland water Fishery products	621	4	0.64%

No products were over standard limits

- ▶ Safe shipment
- ▶ Continued inspections towards the lifting of restrictions

Restrictions of distributions are instructed on each production area for items that are in excess of standard limits

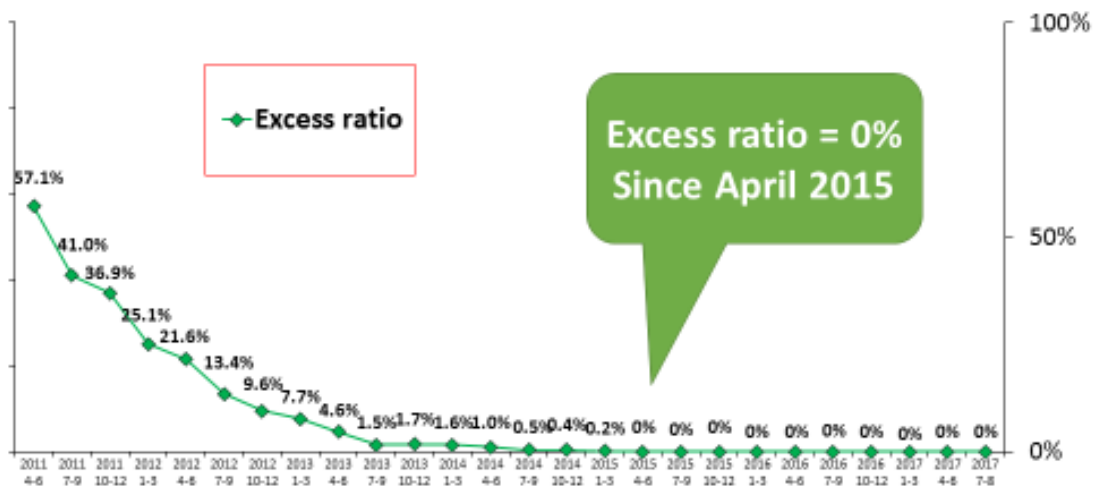
日本産の食品中に含まれる放射性物質について、例えば野菜類、お茶、畜産物はこの5年間の検査で基準値を超えたものはありません。

Initiatives for Inspections of All Bags of Rice in Fukushima Prefecture



福島県産の米は2015年産米以降は、基準値を超過したものではありません。こちらは、1つ1つの米袋を検査する様子です。

Results of Surveys of Marine Fishery Products in Fukushima Prefecture

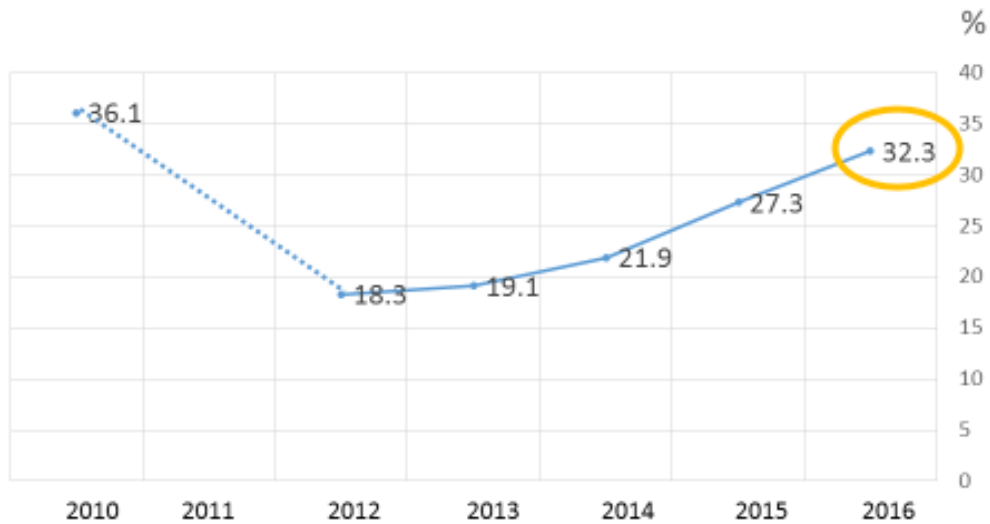


福島県産の海産物についても、2015年4月以降は基準値を超える割合がゼロとなっています。

こうした日本の食品安全管理やモニタリングの体制については、IAEA、FAOといった国際機関からも適切であるとの評価を得ています。

また、日米経済対話においても、原発事故に起因する米国の規制について議論が行われ、規制が徐々に撤廃・緩和されています。

Utilization of local food for school lunches in Fukushima Prefecture (%)



国内の消費者の間でも、福島産食品の購入について震災直後は落ち込みましたが、回復してきております。

福島県内の学校給食での地場産品の利用も、現在では震災前とほぼ同じ水準まで回復しています。

Ryusendo



最後に、東北地方の魅力についてお話しします。これは、岩手県の鍾乳洞、「龍泉洞」です。龍泉洞の湧水は、昔から「一口飲むと3年長生きする」と親しまれていました。地元の人たちに周囲の環境と共に大切に守られてきた水です。皆さんのカンファレンスバッグの中に、この水を使って作られたコーヒーを入れさせていただいています。この場でお飲みいただくことはできませんが、ご自宅で味わってみてください。

東北地方には景勝地が多く、一年を通じて美しい景色を眺め、魅力的な自然の中でレジャーを楽しむことができます。また、歴史遺産も豊富です。15秒ですが、国際観光振興機構の作成したPR動画をご覧ください。

(動画：<https://www.youtube.com/watch?v=8aNqJA5170c>)

UNEXPECTED JAPAN -THE TREASURELAND, TOHOKU (JNTO))



Copy Right: Yahoo! JAPAN, Tohoku Yell Market



Copy Right: Yahoo! JAPAN, Tohoku Yell Market



東北地方に来られる機会がありましたら、新鮮な魚介類を味わって下さい。また、福島県の桃は外国市場でも人気の高級品です。東南アジア市場を中心に多くの桃が輸出されています。東北地方は日本酒でも有名です。今年の鑑評会における新酒の金賞受賞数は福島県が1位、宮城県が2位でした。福島県はこの鑑評会で5年連続1位となっています。



東日本大震災は、マグニチュード9.0の、1900年以降の世界で4番目に大きな地震でした。19,575名の命が失われ、2,577名が今だに行方不明になっています。全壊した建物は、約12万戸におよびます。

このような大災害を経験してもなお、被災地において人々は復興を進めるだけでなく、後世に受け継ぐべき震災の教訓を体系化したり、産業を新しい方法で発展させています。被災地にはアメリカの人々と共有したい知見が沢山あります。

その意味でも「トモダチ・イニシアチブ」が行っている被災地訪問プログラムを大変意義深く思います。

「トモダチ・イニシアチブ」は、被災地の人々を中心とする日本人とアメリカ人が一緒に困難に立ち向かい、知見を共有し、未来を創造することを可能にしてきました。

この崇高なイニシアチブを主導するアメリカ政府と米日カウンスルに対し、改めて感謝と敬意を示させていただき、私の講演を終わらせていただきます。(了)